hunger free world
食べる、生きる、明日を育む。

ありがとうございました！

パルシステム東京のみなさまからご支援をいただき、昨年も飢餓のない世界をつくるための活動を行うことができました。

西アフリカ・ベナンの栄養改善事業によって、栄養不良で病弱なお子さんが回復したアロチマさんからは「今朝も栄養のあるおかゆを子どもに食べさせてきました。２人の子どもは私の宝物です。治療費の支払いは大きな負担でした。浮いたお金で干し魚などを買うことができます」と感謝のメッセージが届いています。

コロナ禍において、医療がぜい弱で食料の貯えもない途上国の人々の生活は、一層厳しくなっていきます。世界中の食卓が笑顔で満たされるよう、ぜひこれからも国際協力にご参加くださるようお願いいたします。

コロナ禍で命をつなぐ

【バングラデシュ】栄養改善事業の対象者が、コロナ禍によるロックダウンで一層の窮地に立たされたため、緊急食料支援を行いました

例えばこんな活動ができました

しくみを変える

【ブルキナファソ】憲法の条文に「食料への権利」を明記するよう求め続け、改正案の草案に含まれるまできています

上の写真【ベナン】3歳未満の栄養不良児とその親を対象にした栄養改善事業で、栄養のあるおかゆの提供や、栄養知識やレシピを伝えています

【公式サイト】
活動地の人々の様子やイベント情報がご覧いただけます

特定非営利活動法人
ハンガー・フリー・ワールド